

【業務効率化に役立つ！】
翻訳のサブスクサービスを活用する方法

Xtra

- はじめに
- 翻訳のサブスクサービスとは？
- サブスク型翻訳の具体事例
- サブスク型翻訳を選ぶ3つの基準
- まとめ

翻訳も、サブスクの時代がはじまっています

動画や音楽の配信、飲食、美容、本やマンガ、学習、家具・家電など、あらゆるジャンルでサブスクリプション形式が広がっています。使いたい期間だけ低価格で使いやすくなるなど大きなメリットがあり、私たちのライフスタイルにもさまざまな変化がありました。

こうしたサブスクのサービスは翻訳でもはじまっています。これまでにない料金体系で翻訳することができるため、**コストを削減したり、作業時間を大幅に短縮したりすることが可能**になりました。その一方で、サービスごとにさまざまな特徴があるため、有効に活用するには適したサービスを選択することが大切です。

本資料ではいくつかの特徴や違いについて解説し、翻訳のサブスクサービスを選ぶためのポイントをご紹介します。

翻訳のサブスクサービスとは？

従来の翻訳サービスとの違いや、主な特徴などを紹介します。

プロ翻訳と自動翻訳のサブスクリプション

従来の翻訳サービスは、翻訳者(翻訳会社)に有料で都度依頼する**プロ翻訳**と、Google翻訳のような無料の**自動翻訳**という主に2つパターンがありました。最近ではどちらのパターンでもサブスクリプション形式での提供が広がっており、それぞれ下記のようなメリットがあります。

プロ翻訳のサブスク

プロの翻訳作業が必要なため従来は高額な費用が必要であった。しかし月額プランの導入によって**単価感が半額以下になる**ようなサービスが登場するなど、大幅なコストの削減が可能になっている。

自動翻訳のサブスク

無料の自動翻訳よりもかなり**品質の高いサービス**を月額でお得に利用できるよ
うになっている。またセキュリティの高さから、**ビジネス資料や研究開発向けの書類**
でも利用できるサービスも増えている。

従来サービスとの比較

	費用感	品質	スピード	セキュリティ
従来のプロ翻訳	△	◎	○	◎
サブスクのプロ翻訳	○	◎	○	◎
無料の自動翻訳	◎	△	◎	△
サブスクの自動翻訳	○	○	◎	◎

サブスク型翻訳の具体事例

プロ翻訳と自動翻訳、それぞれサブスクサービスの具体例をご紹介します。

プロ翻訳と自動翻訳の実例を紹介

プロ翻訳と自動翻訳ともに、さまざまなサブスクサービスがあります。前章では大まかな傾向を紹介しましたが、細かい機能や条件は各サービスによって異なります。ここでは具体例を3つピックアップするとともに、その特徴を次のページから具体的に挙げていきます。

サブスク翻訳	月額9,900円(税込み)から利用できる、サブスク型のプロ翻訳
T-400	2,000分野に対応し、精度95%を誇る高品質のサブスク型自動翻訳
Qlingo	使い放題プランがあり、気軽に使える実用的なサブスク型自動翻訳

【プロ翻訳】月額9,900円からのサブスク翻訳

月額9,900円～でリーズナブルに利用できる「サブスク翻訳」は、**オンラインで翻訳者に直接依頼**できるサービスです。プロ翻訳なのに短い文章ならば**最短10分で納品**されるスピード感が特徴。日本語から英語へ翻訳する際の**文字単価は3～4.5円**で、都度依頼するよりも大幅にコストを削減できます。



<https://www.subscription.conyac.cc/>

料金体系 <small>(税込み)</small>	対応言語数
月額9,900円～	アジアやヨーロッパなど 16言語に対応
納期	品質
最短10分～	品質基準を満たした プロ翻訳者が対応

【自動翻訳】精度95%の高品質な自動翻訳

株式会社ロゼッタが提供する、プロ翻訳者レベルの超高精度AI自動翻訳が「T-400」です。2,000分野以上に対応した**専門分野データベース**が特徴で、すでに**5,000社以上の導入実績**があります。日本語から英語へ翻訳する際の**文字単価は0.3~0.8円**で、年間契約ですが**コストパフォーマンスも優秀**。MS Office や PDF などの**レイアウトを維持したまま翻訳**できるのも魅力です。



<https://www.x-tra.jp/t400>

料金体系 <small>(税込み)</small>	対応言語数
アカウント料 + 月額11,000円～※年間契約	世界100言語以上に対応
納期	品質
数分～30分程度	プロ翻訳者に匹敵する 精度95%の正確性

【自動翻訳】使い放題プランがある自動翻訳

先ほどのT-400と同じロゼッタ社の翻訳エンジンを使いながら、**文字数制限なしの使い放題プランがあるのが「Qlingo (クリンゴ)」**というサービスです。**対応言語は限られていますが**、海外のニュース記事や海外の論文、マニュアルなどの資料を文字数を気にせず翻訳できます。また MS Office や PDF などの**レイアウトを維持したまま翻訳**できるのも魅力です。

Qlingo

<https://qlingo.ai/>

料金体系 <small>(税込み)</small>	対応言語数
月額5,390円～ (※使い放題は月額10,780円)	日本語 ▶ 英語 英語 ▶ 日本語
納期	品質
数分～30分程度	T-400と同じ国内開発の 翻訳エンジンを採用

サブスク型翻訳を選ぶ3つの基準

翻訳品質、料金体系、ファイル翻訳の3つのポイントに着目して選びましょう。

必ずチェックしたいポイント

文字単価だけで比較すると、サブスク自動翻訳のメリットが高いように思われますが、全ての方にベストマッチする訳ではありません。ここでは**最適なサブスクサービスを選択するために重要な3つのポイント**をご紹介します。

翻訳品質	自動翻訳で十分なのか、それともプロのチェックが必要なのか。
料金体系	契約が月単位か年単位か、また翻訳する文字数の上限があるか。
ファイル翻訳	原稿のレイアウトを保持したまま翻訳できるか。

①翻訳品質

トライアルで品質を確認

自動翻訳では各サービスごとに翻訳の精度が違ったり、文章の内容や分野によって得意・不得意があったりします。無料のトライアル期間等を利用して確認しましょう。例えば日本語の文章を英訳し、さらにそれを日本語に翻訳(逆翻訳)すると、品質を比較しやすくなります。

プロのチェックが必要かどうか

例えば海外のニュース記事を読んだりする場合であれば、翻訳の正しさが100%でなくても構わないかもしれませんが、**お客様に見せる資料やECサイトの文章を翻訳する場合には、内容に誤りがあってはいけません。**そうした用途の場合には、自動翻訳ではなくプロ翻訳のサブスクサービスが良いでしょう。または自動翻訳を導入し、プロのチェックが必要なものだけポストエディット(※)を依頼するという方法もあります。

※ポストエディットとは、自動翻訳の訳文をプロの目でチェック・修正を行う作業です。致命的な内容の誤りを防ぐだけでなく、正確性と読みやすさを大幅にアップさせます。

②料金体系

契約期間を確認

サブスクリプション型のサービスでは、**契約期間が1年単位である場合と月単位である場合があります**。年間契約だとお得に使いたりしますが、1年を通してコンスタントに利用機会がない場合には月単位の契約が良いでしょう。サービスによっては契約時に**初期費用**が必要な場合もあるため、そうした点も確認が必要です。

文字数制限があるかどうか

サブスクリプション型は毎月定額での利用が可能ですが、**文字数制限には注意が必要です**。多くのサービスでは毎月の利用に上限があり、翻訳できる文字数を増やす場合にはプラン変更が必要です。毎月の翻訳量が定まっている場合には大丈夫ですが、例えば**海外のニュースや資料を多く読みたい場合や、社内の複数のユーザーが利用するため文字数制限の管理が難しい場合には、使い放題プランのあるサブスクサービスがおすすめです**。

③ファイル翻訳

原稿ファイルをそのまま翻訳できるか

例えばPowerPointの資料を翻訳したい場合、その文章だけをコピーして翻訳を依頼するのは手間がかかります。そのような場合に、ファイル翻訳に対応しているサービスであれば手間がかかりません。ファイルをアップロードするだけで、元のファイルの書式やレイアウトを保持したまま翻訳結果をダウンロードすることができます。（※各サービスごとの仕様によって異なる場合があります。）

ファイル翻訳が可能なサブスク型のサービスは多くありますが、対応しているファイル形式にも注意が必要です特にPDFファイルに対応しているかどうかはサービスによって異なります。PDF資料を翻訳して読みたいことが多い場合には、必ずPDFファイルの対応について確認してみましょう。

本資料では、翻訳分野におけるサブスクリプションサービスについて、特徴や翻訳の品質、料金体系などをピックアップしてご紹介いたしました。大別すると**プロ翻訳**と**自動翻訳**という2つの選択肢がありますが、自動翻訳の正確性が100%ではないことから、現状では**ユーザーのニーズに合わせて最適なサービスを選ぶことが重要です**。ここで取り上げた3つの基準が、貴社のご参考になれば幸いです。

また本資料でご紹介した**3つのサブスク型翻訳サービス**については、弊社にてご案内させていただくことが可能です。もしご不明な点などございましたら、お気軽にお問い合わせ・ご相談ください。

Xtra株式会社

101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-7-21 天翔神田駅前ビル204号室

URL: <https://x-tra.jp/> Mail: client@x-tra.jp